



第52号

佐倉市臼井地区社会福祉協議会 発行者 八田進 編集 広報事業部

秋の風物詩 いもほり会 今年も小学生が体験！

秋晴れの天気の中、令和4年度のいもほり会は、今年も臼井小学校と王子台小学校の児童たちが体験しました。

臼井小学校は10月4日に4年生が、王子台小学校は11月2日に5年生、4日には3・4年生が「紅はるか」を収穫しました。

今年も全体的に生育が良く、みんな大きな芋を掘ることが出来ました。



臼井小学校

王子台小学校



また両校の児童からは、当日のいもほりについてお礼の手紙をいただきました。一部ですが紹介します。

(次ページに掲載)



①



②



③

子ども食堂お弁当

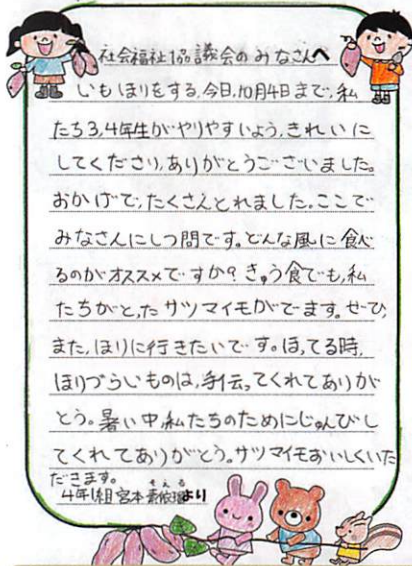
- ①メリーゴーランド食堂
- ②おひさま食堂
- ③芽ぶき食堂



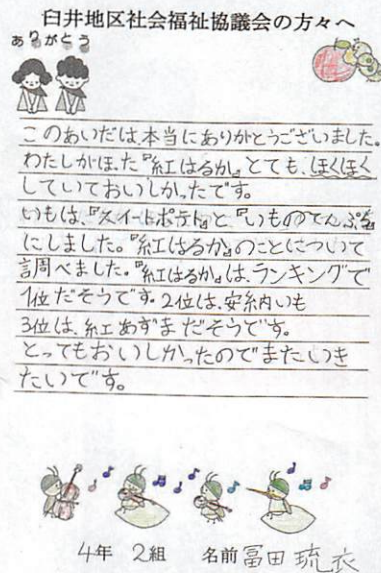
子ども食堂の方々

小学生たちの後は、今年も6箇所の「子ども食堂」の方々にいもほりをして頂きました。

後日、掘ったさつまいもを使ったお弁当の写真を送っていただきましたので、紹介します。



白井小学校 宮本素依瑠さん



王子台小学校 富田琉衣さん 南勇晴さん

白井小学校4年生
児童と王子台小学校
4年生、5年生児童
からのお礼の手紙を
いただきました。
王子台小学校の5
年生は、今パソコン
授業を受けているの
で画像や飾り文字を
使った手紙になった
のだそうです。

白井地区 社会福祉協議会のみなさんへ

白井地区 社会福祉協議会のみなさん、今回は芋ほりをさせて頂きありがとうございました。僕はほったお芋をいも天にして食べました。とても甘くて美味しかったです。ほかに焼き芋にして食べたいです。5-2南勇晴



パワーポイント使用の福祉委員定例会

密を避けるために2部制で開催している「福祉委員定例会」では、今年から事業部の報告の際にパワーポイントの使用を始めました。
活動によってはコロナ禍対策として、人数制限を行うものもあります。今までのように気軽に参加出来ない行事もありますので、判りやすく伝えるために写真を多用したパワーポイントを利用しています。

事業部が動き出しました！

コロナ禍での地区社協活動



日用品雑貨販売 買物支援八幡台



ちょっと一服 買物支援うすい荘

いきいきサロン事業部が行っている買物支援「ふれあい買物市場」では、10月のうすい荘で行った「買物市場」から「お休み処」を始めました。

今回の募金は、テーブルの上に募金箱、消毒液、赤い羽根、お礼のしおり、ティッシュペーパーを置き、非接触の新スタイルが基本となります。(写真①) 寄附して下さい方には自分募金箱にお金入れて頂き、羽根やお礼のティッシュペーパーも自分で持って行って頂くことになります。(写真②)



街頭募金の新スタイル ①

地域福祉事業部は、10月3日に2年ぶりとなる「赤い羽根共同募金」の街頭募金活動を行いました。
今まで白井地区社協では、毎年11月に白井西中学校と協働で募金活動を行っていましたが今年もまだ中学生は参加出来ないため、福祉委員が中心の少人数での募金活動を行いました。



川根紀夫氏

研修事業部は10月15日、臼井公民館で公開講座「地域が変われば社会は変わる」のテーマで行いました。今回はまだ福祉委員だけを対象にしましたが、順天堂大学講師で佐倉市社協元

なんと不思議な募金スタイルではありませんが、コロナ禍での募金では致し方ないことなのかもしれません。



街頭募金の新スタイル ②

主に日常生活(仕事・家計・ひきこもりなど)での不安や心配を相談する窓口で、高齢者の相談窓口である「包括支援センター」とは違い、こちらは相談者の年齢制

対象となるのは、今はまだ生活保護を受けてはいませんが、経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することが出来なくなる恐れのある方です。

令和2年よりこの活動は「くらしサポートセンター佐倉」と名称を変え、佐倉市役所4号館地下1階で相談業務を行っています。



理事の川根紀夫氏を講師に迎え、3年ぶりの研修を行いました。障がい者や様々な困難を負っている人たちにに対し、誰も排除しない、排除されない社会(地域)に変えていくためにはどうしたらよいかという話を伺いました。

くらしサポートセンター佐倉
芳野氏・堀内氏・谷口氏

今年度の活動も残り少なくなりましたが、今後も出来る活動を試行錯誤しながら実施して行きたいと思っています。

区社協からも発信していく必要があると感じるものでした。

限はありません。コロナ禍になってからの相談件数は急激に増え、令和3年度は月に約500件の相談に8名の相談員が対応しています。現在は本人からの相談以外にも、近隣の住人や保健センターからの連絡で、サポートに入ることもあるそうです。相談者の自己決定を尊重し、段階を踏んだ支援を行うこのシステムは、長い期間の見守りが必要とします。そのため行政などの関係機関やボランティア、地区社協、支えあい活動など、地域との連携も必要となります。こうした活動については、地区社協からも発信していく必要があると感じるものでした。

臼井地区社協 活動報告 令和4年8月~12月

8月	3日(水)	印旛広域情報交換会	11月	2日(水)	いもほり会・王子台小学校
	24日(水)	ふれあい買物市場・ニッコー班		4日(金)	いもほり会・王子台小学校
9月	10日(土)	第4回理事会	12月	12日(土)	第6回理事会
	17日(土)	第4回福祉委員定例会		19日(土)	第6回福祉委員定例会
	21日(水)	ふれあい買物市場・稲荷台班		30日(水)	ふれあい買物市場・八幡台班
10月	3日(月)	赤い羽根共同募金	12月	1日(木)	歳末たすけあい募金
	4日(火)	いもほり会・臼井小学校		10日(土)	第7回理事会
	8日(土)	第5回理事会		10日(土)	ありがとう事業・感謝状贈呈式
	15日(土)	第5回福祉委員定例会・公開講座		14日(水)	ふれあい買物市場・ニッコー班
	19日(水)	ふれあい買物市場・うすい荘班		17日(土)	第7回福祉委員定例会
	27日(木)	昔遊び・王子台小学校		17日(土)	広報紙「うすい」52号発行

イオンイエローレシートキャンペーンご協力をお願い

イオンで毎月11日にお買い物をすると、黄色いレシートが発行されるのをご存じですか?

令和4年度前期(3月~8月)の結果がまとまり、今回は1,178,407円の投函で11,800円分のイオンギフトカードを頂きました。今回も前期の贈呈については前年度同様、後期(9月~2月)に繰越をお願いしました。次回合計でいただくカードは、買物支援、サロン、福祉委員活動に使用させていただきます。ご協力ありがとうございました。引き続きご協力をお願い致します。



臼井地区社協シール

千葉直新地域支援事業推進協議会 印旛圏域情報交換会

「愛の手サポート」について講演しました

8月3日、成田市保健福祉館内の多目的ホールで、表記の情報交換会がありました。当地区社協からは八田会長、原田愛の手サポートセンター長、広報担当として但馬が出席しました。

千葉県新地域支援事業推進協議会は、社会福祉法人 千葉県社会福祉協議会内に平成27年6月に設置され、地域社会の助け合い活動を拡大・推進することを目的とする組織です。

情報交換会は主催の千葉県新地域支援事業推進協議会インストラクター 国生美南子氏の挨拶に始まり、臼井、印西、成田、四街道から6件の実践発表がありました。



原田センター長による講演



パワーポイントを使用した説明

発表者の皆さんは、各々ディスプレイ用資料に沿って発表したのですが、マスク着用や会場の反響の影響で聞き取りにくいことがありました。

当地区社協の原田さんは、愛の手サポートのチョッキを着用しての発表で、内容についてのディスプレイ資料も解りやすく、聴講の皆さんには理解し易かったと思います。

発表後は5〜6人のグループに分かれ、意見交換をしました。

原田さんのグループからは、愛の手サポートに関する質問が多くサポート内容や費用について関心が高かったように思います。

国生氏の閉会の挨拶では「チョット困ったことが地域で解決できるのは素晴らしい」と各地域のサポート活動に触れられたことは、印象的でした。

(但馬)

令和4年度 ありがとう事業について

3年目に入った「おじいちゃんおばあちゃんにありがとうの気持ちを伝えたい事業」は、各自自治会・町内会から対象者の推薦をいただき、70名の方に感謝状をお渡しすることになりました。

先週、12月10日に臼井自治会館で贈呈式を行いました。

本来でしたら対象の方全員にお集まり頂きたかったのですが、まだまだコロナ禍の状況ではそれも叶わず昨年同様代表者の方々のみにお集まり頂き、短時間での贈呈式を行いました。

また本年度は100歳(百寿)を迎える方は2名いらっしゃいました。おめでとうございます。

贈呈式の詳細は、次号に掲載致します。

うすい景ハ

紅葉や冠雪の便りに、GO・TO イートやGO・TOトラベルキャンペーンが推進され、行動の制限が緩和された人々は、イベントや旅行、飲食店などに行けるようになりました。

私は佐倉城址公園のボランティアガイドをしています。毎月10日の定例ガイドの日にはリピーターを含め、多いときは100人、少なくとも30人位の参加者がいます。遠くへの旅行は心配だから、自分の住む町を知り、日本100名城のスタンプ、佐倉城の歴代の城主は誰だったかなど子供と一緒に楽しんでいる親子もいます。

そしてここは臼井。臼井の歴史や臼井城跡、たくさんある寺社、うすい八景印旛沼などを巡れば歩く楽しみや仲間も増え、住む町臼井に更なる愛着が湧くのではないのでしょうか。気軽に動ける『安、近、短』の旅もお勧めします。

まだまだ新型コロナウイルスの感染が続いています。『三密』を避け、マスク、手洗い、うがいは感染防止策の基本です。気を緩めることなく過ごしたいものです。

(柴倉)

ご意見はうすいセンターまで

「うすいセンター」(臼井・王子台・うすい東地区社協合同事務所)

臼井地区社協担当日は

毎週月曜日・木曜日

開館時間・午前9時半〜午後4時半

(12時〜1時は昼休憩です)

住所: 佐倉市王子台1-23

レイクピアウスイ3階

電話: 043(462)0743

メールアドレス:

center-usui@catv296.ne.jp

ホームページ:

http://www.catv296.ne.jp/~

usui-syakyu/